

令和4年度 さんらいずホール 事業報告

職員異動状況

入職	：	正規職員	5名	嘱託職員	0名	パート職員	1名
退職	：	正規職員	5名	嘱託職員	0名	パート職員	0名
法人内異動	：	正規職員	3名	嘱託職員	0名	パート職員	1名
育児短時間勤務職員		0名	育児産休職員		2名		

計画内容

1、ひとりを大切に想う、個別支援を柱とした事業を展開いたします

一人ひとりの表情・言動・仕草から想いや考えの意図の多くを伺い知ること、私たちは思考を巡らせ、日々学びの中で、望まれるさんらいずホールの役割を捉え、きちんとお応えできる地域社会福祉事業としての使命を果たしたいと考え項目とし掲げさせていただきました。

◆実施項目1 さんらいずホールクリーナスミーティングの開催

実施：毎月1回

出席者：法人常務理事、法人事務局長、総合施設長、管理責任者、主任、各事業責任者

クリーナスミーティングに法人として常務理事や事務局長にご参加頂くことで、法人全体としての職員意識の醸成や『法人の今』を理解することが出来ました。

また、月に1回定期開催することで、『さんらいずホールの今』を法人へもお伝えすることができ、問題共有の場として有効であったと考えます。各事業所責任者からの報告により、その事業所が抱える問題や課題を参加者全員で共有する事が出来ました。

◆実施項目2 個別支援計画作成スキル向上と効果検証の実施

出席者：管理者、サービス管理責任者、就労移行支援職員

就労移行においては、既存の個別援助計画についての書式を変更し、利用者の写真や24時間での行動を追えるような新書式を採用しております。

各法的に必要な内容を備え、かつ見やすく・分かりやすい物の作成を目指しました。新書式への移行に時間を要した事もあり、その作成においても情報整理に手間が掛かり時間を要してしまう結果となりました。

作成においては引き続き、令和5年度の課題となっております。



◆実施項目3 病気や自然災害から身を守るための整備実施

担当者：管理者、看護師、サービス管理責任者、リーダー

令和4年度を通して、各事業所共に新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期して臨んでおります。職員・家族、また利用者においても感染の報告を受けた後には、速やかな対策を実施する事で、その後の感染拡大を防ぐ事が出来ました。

感染症対策においては、法人感染症対策本部の指示のもと、法人全体での統一した対応を行う事で、より混乱の無い対応へと繋げる事が出来ました。

また、職員の復職や新規利用者のサービス利用前においては、嘱託医である東御記念セントラルクリニックにおいて、新型コロナウイルス感染症のPCR検査や抗原検査を実施して頂くことで、安心して業務に就く事やサービス利用を開始して頂ける事になりました。

2、共に「はたらく」苦楽を味わい、成長し続けます

一般就労と工賃向上の目標達成へ向かうことは基より、全ての国民が勤労の権利を有するものであり、働くということは誰もが平等に生計の維持、能力の発揮、社会経済活動への参加を果たすことが出来る大変重要な活動であることを共通認識とし展開する為、掲げさせていただきました。

◆実施項目1 ワーカーズプロジェクトの実施（2期目）

【内容概略】

令和3年度より掲げているこの内容については、働く事への概念整理や働く為の苦勞・準備の大切さを学んで頂く事で、就労に対しての印象をより明確にしていく事が出来ました。また、働いた結果としてもたらされる達成感や楽しみといった意識的な内容を感じて頂く事や対価としての工賃を受け取る事での社会の一員としての実感やその参加の実際を感じて学んで頂くことが出来ました。

◆実施項目2 「発酵」をテーマとしたダーチャ自主生産品、新規展開の実施

【内容概略】

さんらいずホールの自主事業として、その歴史と共に歩んできたパンの製造・販売事業であります。現在のダーチャでの製造・販売においては活性性に乏しく、商品開発への途上や販売形態の確認・見直しが必要であると思われておりました。

店舗での販売形態・スタイルについては、コロナ禍からWithコロナへと移行していく中で、販売からのイトイン・スタイルとして営業を行っております。

また、外部販売においては、既存の販売先への訪問と共に、販売先の新規開拓や行事・イベント時の販売における特需に対応する事で、一定売上を計上する事が出来ております。

ダーチャにおけるパン販売については、令和5年度においても引き続き大きな課題と認識しております。



3、東御市で活動し暮らしを送る一員とし地域参加の方策を探ります

様々な人達の支えと協力があり成り立っている事から地域共生は不可欠であり、地域にある社会資源とし活用いただけるサービス提供に尽力する事と合わせ、現状の事業所活動から地域参画や貢献の方法を模索していく事とし掲げさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症への対応と共に、社会生活におけるその地域参加については、大変難しい状況にあったと言えます。各行事への参加や日常生活における行動の制限は、利用者の方々にとって大変辛い状況でありました。

事業展開としての状況では、渡辺法人運営アドバイザーによる地域調査や利用者、各家族への意向確認を独自に実施して頂ける中で、その得た内容を各事業所へフィードバックして頂ける結果となりました。

令和5年度においてもその実施を継続し、各事業所における地域ニーズへの理解やそれらに沿ったサービス・事業運営を行っていく必要があります。

4、働き関わる人財を大切に、互いに研鑽し続けます

日々の業務に追われ、こなすのではなくその意味や意図を個々が考え、物事の理解をきちんと深め、自らの意志と意欲を伴った活力ある業務遂行への繋がるよう研鑽の機会を持つことで長期的な運営の安定化に繋げるべく令和4年度につきましても継続的に機会を作りたいと考え、実施項目とし掲げさせていただきました。

ちいさがた福祉会が目指す『人にやさしく』を具現化する為、法人内では『元気百倍プロジェクト』を立ち上げ、その内容の多くには、職員に対しての現状への課題や自らがより働き易くする為の工夫などを広く聞き集める事が出来ました。

また、事業所内での取り組みとして、職員一人ひとりが日々の業務に自信を持ち、より意識的に就業が行えるよう単体のプロジェクトを設け自己研鑽の場や外部研修への参加の機会とする事が出来ました。

5、その他全体事項

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| — 法人新入職員辞令交付式 | 令和4年4月 1日 (金) |
| — 令和3年度決算に伴う法人監事監査 | 令和4年5月 25日 (水) |
| — 令和3年度決算 法人理事会・法人評議員会 | 書面決議 |
| — 法人技能実習生開始式 | 令和4年 6月 20日 (月) |
| — さんらいずホール火災避難訓練 | 令和4年 6月 29日 (水) |
| — 法人第三者委員苦情報告協議 | 令和4年 7月 13日 (水) |
| — グループホーム円居・やわらぎ水害想定避難訓練 | 令和4年 9月 4日 (日) |



- さんらいずホール・くらら 同時水害想定避難訓練 令和4年10月5日(水)
- くらら火災避難訓練 令和4年10月25日(火)
- グループホーム円居・やわらぎ火災避難訓練 令和4年10月30日(日)
- グループホーム円居・やわらぎ実地指導 令和5年1月24日(火)
- さんらいずホール 家族会 令和5年1月27日(金)
- デリクックちくま 食事検討会議 令和5年3月3日(金)
- さんらいずホール 虐待防止研修会 (Zoom) 令和5年3月10日(金)